



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月7日
上場取引所 東

上場会社名 ウイン・パートナーズ株式会社
 コード番号 3183 URL <http://www.win-partners.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秋沢 英海
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 松本 啓二 TEL 03-3548-0790
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|--------|-----|-------|-------|-------|-------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期第3四半期 | 51,352 | 5.1 | 1,800 | △16.2 | 1,803 | △16.2 | 1,551 | 6.1 |
| 2022年3月期第3四半期 | 48,855 | 9.9 | 2,147 | 46.1 | 2,153 | 45.6 | 1,462 | 46.9 |

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 1,555百万円(6.2%) 2022年3月期第3四半期 1,464百万円(44.3%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期第3四半期 | 54.59 | — |
| 2022年3月期第3四半期 | 50.93 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2023年3月期第3四半期 | 41,898 | 22,282 | 53.2 | 784.05 |
| 2022年3月期 | 41,564 | 21,721 | 52.3 | 764.32 |

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 22,282百万円 2022年3月期 21,721百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期 | — | 0.00 | — | 35.00 | 35.00 |
| 2023年3月期 | — | 0.00 | — | | |
| 2023年3月期(予想) | | | | 50.00 | 50.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2023年3月期(予想)の期末配当金内訳 普通配当 36円00銭 記念配当 14円00銭

詳細につきましては、本日(2023年2月7日)公表いたしました、「2023年3月期配当予想の修正に関するお知らせ(設立10周年記念配当)」をご覧ください。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|-----|-------|-----|-----------------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 71,000 | 6.9 | 2,820 | 2.1 | 2,820 | 2.0 | 1,930 | 5.4 | 67.91 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(注)特定子会社の異動には該当していませんが、第2四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であるテスコ株式会社を通じ、株式会社トーセイメディカルの全株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2023年3月期3Q | 30,503,310株 | 2022年3月期 | 30,503,310株 |
| ② 期末自己株式数 | 2023年3月期3Q | 2,083,573株 | 2022年3月期 | 2,083,573株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 2023年3月期3Q | 28,419,737株 | 2022年3月期3Q | 28,708,237株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当該業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、ウィズコロナの下、社会経済活動の正常化が進みつつある一方、ウクライナ情勢の長期化に伴う原材料・エネルギー価格の高騰や世界的インフレーションの加速と急激な円安進行などにより、景気は依然として厳しい状況となっております。

医療業界におきましては、増加し続ける医療費を背景に医療制度改革が実施されており、効率的で質の高い医療提供体制の構築等が進められております。これにより医療機関におきましては、経営の合理化・効率化が重要課題となっており、課題解決に向けた取り組みが引き続き行われております。その中で、来院患者数や手術件数はコロナ禍以前の水準に戻りつつあるものの、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないことから、先行き不透明な状況が続いております。そのため、納入業者に対する値下げ要請や大学系列病院・グループ系列病院等における商品集約化・価格統一化の動きが依然として強い傾向となっております。

当社グループといたしましては、このような環境の変化を的確に把握し、顧客の課題解決に向けた付加価値の高い提案を行うことで、既存顧客の深耕と新規顧客の獲得に努めました。また、東北エリアでの更なるシェア拡大のため、岩手県を基盤とする株式会社トーセイメディカルをグループ化することにより事業規模拡大を図りました。しかしながら、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により緊急性の低い待機的手術の延期があったこと等の影響を受けております。この結果、売上高は51,352,230千円（前年同四半期比5.1%増）、経常利益は1,803,673千円（前年同四半期比16.2%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益に固定資産売却益を計上したこと等により1,551,451千円（前年同四半期比6.1%増）となりました。

分類別の経営成績は以下のとおりであります。

| | 前第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日) | | 当第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) | | 増減 | |
|-----------------|--|--------|--|--------|-----------|--------|
| | 金額(千円) | 構成比(%) | 金額(千円) | 構成比(%) | 金額(千円) | 増減率(%) |
| 虚血性心疾患関連 | 12,885,549 | 26.4 | 12,270,501 | 23.9 | △615,047 | △4.8 |
| 心臓律動管理関連 | 12,919,983 | 26.4 | 13,552,586 | 26.4 | 632,603 | 4.9 |
| 心臓血管外科関連 | 7,330,682 | 15.0 | 8,053,488 | 15.7 | 722,805 | 9.9 |
| 末梢血管疾患関連及び脳外科関連 | 4,952,281 | 10.1 | 5,274,762 | 10.3 | 322,481 | 6.5 |
| 医療機器関連 | 4,588,043 | 9.4 | 5,419,954 | 10.5 | 831,911 | 18.1 |
| その他 | 6,178,873 | 12.7 | 6,780,936 | 13.2 | 602,063 | 9.7 |
| 合計 | 48,855,413 | 100.0 | 51,352,230 | 100.0 | 2,496,816 | 5.1 |

・虚血性心疾患関連

顧客の課題解決に向けた付加価値の高い提案を行うことで、既存顧客の深耕と新規顧客の獲得に努めました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響から手術件数が減少したこと等により、虚血性心疾患関連の売上高は12,270,501千円（前年同四半期比4.8%減）となりました。

・心臓律動管理関連

既存顧客の深耕と新規顧客の獲得に注力するため、人員の増強を図り営業活動を強化しました。その結果、植込型除細動器(I C D)、両室ペーシング機能付き植込型除細動器(C R T D)の販売数量が伸長したこと等により、心臓律動管理関連の売上高は13,552,586千円（前年同四半期比4.9%増）となりました。

・心臓血管外科関連

経カテーテル的大動脈弁置換術(T A V I) 関連商品の販売数量が伸長したこと等により、心臓血管外科関連の売上高は8,053,488千円（前年同四半期比9.9%増）となりました。

・末梢血管疾患関連及び脳外科関連

経皮的シャント拡張術で使用するP T Aバルーンカテーテルや脳外科関連商品の販売数量が伸長したこと等により、末梢血管疾患関連及び脳外科関連の売上高は5,274,762千円（前年同四半期比6.5%増）となりました。

・医療機器関連

医療施設の新築・増改築及び医療機器の更新情報収集を早期に行い、地域の市場動向に沿った設備投資の提案を行ったこと等により、医療機器関連の売上高は5,419,954千円（前年同四半期比18.1%増）となりました。

・その他

循環器領域以外の診療科に対する営業活動を強化し、顧客医療機関における当社グループの取扱商品の拡大を図りました。この結果、消化器関連や糖尿病関連の販売数量が伸長したこと等により、その他の売上高は6,780,936千円（前年同四半期比9.7%増）となりました。

主な分類別の取扱商品は以下のとおりであります。

| 分類 | 取扱商品 |
|-----------------|---|
| 虚血性心疾患関連 | 当社グループの主要商品群であり、心筋梗塞や狭心症といった虚血性心疾患の治療に使用されるカテーテル等の医療機器であります。これらの医療機器を使用した治療は、患者の身体に対する負担が少ないことから、「低侵襲医療」と呼ばれております。 ＜薬剤溶出型ステント(DES)、PTCAバルーンカテーテル、血管内超音波(IVUS)診断カテーテル等＞ |
| 心臓律動管理関連 | 不整脈の治療に使用される医療機器であります。 ＜ペースメーカー、植込型除細動器(ICD)、両室ペーシング機能付き植込型除細動器(CRTD)、電気生理検査用カテーテル、心筋焼灼術用カテーテル等＞ |
| 心臓血管外科関連 | 心臓疾患を治療するための外科手術の際に使用される医療機器であります。 ＜ステントグラフト、経カテーテル生体弁、人工血管、人工心肺等＞ |
| 末梢血管疾患関連及び脳外科関連 | 末梢血管や脳血管の疾患を治療するために使用される医療機器であります。 ＜PTAバルーンカテーテル、末梢血管用ステント、塞栓用コイル等＞ |
| 医療機器関連 | 放射線科や手術室等で使用される医療機器であります。 ＜X線血管撮影装置、コンピュータ断層撮影装置(CT)、磁気共鳴画像診断装置(MRI)、麻酔器等＞ |
| その他 | 上記以外の医療機器等であります。 ＜インスリンポンプ、持続血糖測定器、血圧トランスデューサーセット、血圧モニター用チューブ等＞ |

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産は、前連結会計年度末に比べ333,064千円増加し、41,898,062千円となりました。これは、有形固定資産が1,860,534千円減少した一方、現金及び預金が1,032,679千円、商品が859,034千円、電子記録債権が626,321千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ227,508千円減少し、19,615,583千円となりました。これは、電子記録債務が254,542千円増加した一方、未払法人税等が288,782千円、賞与引当金が227,316千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ560,572千円増加し、22,282,478千円となりました。これは、前期の配当金の支払により994,690千円減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益により1,551,451千円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2022年11月8日の「2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 15,572,870 | 16,605,549 |
| 受取手形及び売掛金 | 14,542,286 | 13,711,053 |
| 電子記録債権 | 1,819,004 | 2,445,325 |
| 商品 | 2,066,037 | 2,925,071 |
| その他 | 745,629 | 1,041,075 |
| 流動資産合計 | 34,745,828 | 36,728,075 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 5,748,776 | 3,888,242 |
| 無形固定資産 | 156,579 | 338,566 |
| 投資その他の資産 | 913,813 | 943,178 |
| 固定資産合計 | 6,819,169 | 5,169,986 |
| 資産合計 | 41,564,997 | 41,898,062 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 14,881,444 | 14,971,520 |
| 電子記録債務 | 2,094,209 | 2,348,751 |
| 未払法人税等 | 595,688 | 306,906 |
| 賞与引当金 | 392,514 | 165,198 |
| その他 | 734,703 | 607,832 |
| 流動負債合計 | 18,698,560 | 18,400,209 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付に係る負債 | 1,142,531 | 1,213,234 |
| その他 | 2,000 | 2,140 |
| 固定負債合計 | 1,144,531 | 1,215,374 |
| 負債合計 | 19,843,091 | 19,615,583 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 550,000 | 550,000 |
| 資本剰余金 | 2,272,369 | 2,272,369 |
| 利益剰余金 | 19,688,252 | 20,245,013 |
| 自己株式 | △836,142 | △836,142 |
| 株主資本合計 | 21,674,479 | 22,231,240 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 40,538 | 43,847 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 6,887 | 7,390 |
| その他の包括利益累計額合計 | 47,426 | 51,237 |
| 純資産合計 | 21,721,905 | 22,282,478 |
| 負債純資産合計 | 41,564,997 | 41,898,062 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 48,855,413 | 51,352,230 |
| 売上原価 | 42,626,718 | 45,095,898 |
| 売上総利益 | 6,228,694 | 6,256,331 |
| 販売費及び一般管理費 | 4,080,966 | 4,456,125 |
| 営業利益 | 2,147,728 | 1,800,205 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 113 | 97 |
| 受取配当金 | 1,221 | 1,211 |
| 不動産賃貸料 | 1,564 | 1,031 |
| その他 | 3,450 | 5,263 |
| 営業外収益合計 | 6,349 | 7,604 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | - | 64 |
| その他 | 709 | 4,072 |
| 営業外費用合計 | 709 | 4,137 |
| 経常利益 | 2,153,368 | 1,803,673 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 357 | 514,573 |
| 投資有価証券売却益 | - | 28,306 |
| 特別利益合計 | 357 | 542,880 |
| 特別損失 | | |
| 事務所移転費用 | - | 71,413 |
| 特別損失合計 | - | 71,413 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,153,725 | 2,275,140 |
| 法人税等 | 691,707 | 723,688 |
| 四半期純利益 | 1,462,018 | 1,551,451 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,462,018 | 1,551,451 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 1,462,018 | 1,551,451 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 292 | 3,309 |
| 退職給付に係る調整額 | 2,445 | 502 |
| その他の包括利益合計 | 2,738 | 3,811 |
| 四半期包括利益 | 1,464,756 | 1,555,263 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,464,756 | 1,555,263 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。